



YAMATO Leaf archive

ヌルデ〈命果てても地中のエンジェル〉

葉っぱの絵の展覧会で、
江川さんから伺った話が、心に残っている。
何の植物か忘れたけど
「山火事などで周りの木々がいなくなると芽を出す植物がいる」というのだ。
—昨日までいた木々たちがいない。
見渡す限り焼け野原。
休眠し続けてた種たちが、ウン十年の時を経て、続々と芽吹き出す……。
あまりに心に響いたので、
その後〈発芽のダンス〉を創って踊ったくらいだ。
この江川さんこそ何を隠そう、
世界文化社図鑑編集部の編集長で、
『木の葉の美術館』『木の実の宝石箱』『街路樹 葉っぱの詩』、
三冊の私の本を世に送り出すことになる人物、
エライ人、なのだった。
昨日に引き続きやって来た神代植物公園で、
念願のヌルデの葉を手にした。
ヌルデの葉っぱにできる虫こぶは、お歯黒に使われたり、
生薬の五倍子になったりする。
そしてヌルデの種。地中でウン十年と眠り、
山火事や伐採などで他の命が果てたとき、
いち早く発芽する。
その葉には、天使みたいに小さな翼が付いている。

(『言の葉 葉っぱ暦』(けやき出版)より)

表紙の絵「ヌルデ」

わいわいがやがや、楽し気に
お話ししているみたいな虫食い葉っぱ

神代水生植物園深大寺跡の山の天辺にて
2004.11.14採集

紙/テンペラ size:500mm×650mm

(作品の完成日は2005年5月27日) ©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』(群馬直美の木々の葉と木の実の美術館)他。東京都立川市在住。 <https://www.wood.jp/konoha/>

建設プロダクト ヤマト

株式会社ヤマト 総務部広報室

2023年11月発行

〒371-0844 群馬県前橋市古市町118

TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp